

# 「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」シンポジウム

text by Takeshi Karasawa

文 唐澤 剛

私は、令和5年度からスタートした内閣府の「第3期戦略的イノベーション創造プログラム（Strategic Innovation Promotion Program：略称SIP）」の中で、「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」という研究プログラム（プログラムディレクター…PDは、久野譜也筑波大学大学院人間総合科学学術院教授兼筑波大学スマートウエルネスシティ政策開発研究センター長）のサブプログラムディレクター（SPD）を

であり、青木さんはこの研究テーマの担当SPDです。

シンポジウムのテーマは、「日本のコミュニティの寛容性を高めることによるWell-being向上法を考える」ですが、私からはこのテーマに関連して、これからの例のない少子高齢社会に向かって地域包括ケアネットワークや地域共生社会を作っていくことは包摂的な社会を作っていくことと同じ目標を目指すものであるこ



務めています。SPDは5人います。

「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」の趣旨は、「性別、年齢、障がいの有無、少数派・多数派に関わらず、多様な人々が社会的にも身体的・精神的にも豊かで暮らしやすいコミュニティを実現するため、個人や社会の寛容性と自律性の向上により、社会活動への主体的参加を促し、必要なサポートが得られる仕組みを構築することであるとされています。社会の寛容性は、自分とは違う人、違う価値観を持つ人を認めることです。「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」では、研究だけでなく、包摂的コミュニティを実現するために、寛容性・自律性が高められる科学技術を基盤とした社会技術が開発されるプラットフォームを開発し、社会実装することを目指しています。

この研究のシンポジウムが、令和6年2月21日に全国都市会館で開催されました。タイトルは、「日本のコミュニティの寛容性を高めることによるWell-being向上法を考える」で

と、それは、それぞれの人がその人らしく幸せに暮らせるまちづくりであり、充実した生活を送れるまちづくりであることをお話しました。そのためには、人と人がつながり続ける地域づくり、コミュニティづくりが重要であり、つながりは一瞬のつながりではなく、つながり続けること、つながり続けられることが重要であることをお話しました。

また、そのベースには、自律性と寛容性の向上が必要です。自律性の向上には適切な自尊心を持てることや自己実現を目指すことが重要であり、寛容性の向上には、私がいつも述べている「ダイバーシティ×インタラクティブ」が重要で

重要です。そして、データを使って、橋田浩一先生がお話しされている「人生の全体最適化」にもつながる、Well-beingの最大化を進めるまちづくりの手法を開発し、それを今後少子高齢化が進む世界の国々に発信したいというお話をさせていただきました。

シンポジウムの概要は、国立研究

開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所のホームページにアクセスし、右側の「SIP」のバナーをクリックしていただくと、「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」シンポジウムについて紹介されています。また、そのページの左段に「SIP「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」シンポジウムの動画」が掲載されていますので、ご興味のある方はぜひご覧ください。

最初のトークセッションでは、「企業における女性活躍と女性社員の健康イノベーション」というテーマで、2番目のトークセッションは「地域のコミュニティの課題の解決法／子育てから高齢者」というテーマで、活発なディスカッションが行われました。

私は、3番目の「コミュニティ再生にDXが果たす役割」について、青木由行SPD、本村陽一国立研究開発法人産業技術総合研究所人工知能研究センター首席研究員と鼎談を行いました。本村さんは、この研究全体の中核となる「包摂的コミュニティ再生技術の開発」の研究責任者

です。久野譜也プログラムディレクターによる開会挨拶、川上大輔内閣府科学技術・イノベーション推進事務局審議官の挨拶の後、久野譜也プログラムディレクターより「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」の目指す方向性について講演があり、荒井広幸元内閣官房参与による「コミュニティ改革が社会を変える」という特別講演が行われました。

■ SIP「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」シンポジウムの動画は、左記QRコードからご覧いただけます。  
<https://www.youtube.com/watch?v=YJKPwQdefbo>



## Profile

佐久大学客員教授・大阪河崎リハビリテーション大学客員教授  
1956年長野県安曇野市生。1980年早稲田大学政治経済学部卒業。同年厚生省に入省。2014年厚生労働省保険局長、2016年内閣官房地方創生総括官、2018年退官。2021年より、社会福祉法人サン・ビジョン理事長。